

2025年6月19日

報道関係者 各位

UNHCR 親善大使 MIYAVI 「人々をつなぐ音楽の力」を応援
世界難民の日 2025・チャリティオンライン上映
『ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦』

【オンライン開催】 2025年6月20日（金）～7月31日（木）

特定非営利活動法人国連UNHCR協会（東京都港区）は、6月20日の「世界難民の日2025」に際し、ドキュメンタリー映画『ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメルの挑戦』のチャリティオンライン上映を開催します。本上映会に際してUNHCR親善大使・MIYAVIから応援メッセージが届きました。



UNHCR親善大使・MIYAVIからのメッセージ

「アート、音楽、文化はエンターテインメントの枠を超え、傷ついた人々の心を癒す力を持っている」

困難な状況にあっても希望を失わず、自分の信じる音楽を探究し続けるドゥダメル氏の姿勢、そして画面から溢れ出すような彼の音楽とパッションを、ぜひ感じてほしいです。

音楽の未来のため、そして次世代を生きる子どもたちのために、孤軍奮闘する彼の活動を見ていると、「自分も何かしたい、自分にも何かできるかもしれない」と思われます。

世界難民の日にあたり――

世界が分断しかけている今だからこそ、「人々をつなぐ音楽の力」を強く信じて。

――UNHCR親善大使 MIYAVI

本作は、世界的指揮者グスターボ・ドゥダメルの音楽と人生に迫るドキュメンタリーです。彼のルーツであるベネズエラでの音楽教育活動「エル・システマ」から、世界のトップオーケストラを率いる現在に至るまで、音楽を通じて社会と向き合い、困難を乗り越えてきたその姿が描かれています。混乱と危機の中にある祖国ベネズエラへの想い、そして音楽がもたらす希望と変革の力に満ちた感動の物語です。



このチャリティ上映は、ドゥダメルの音楽と生き方に触れながら、未来を信じて生きる子どもたちや世界各地の難民や国内避難民を支える支援の一步となるものです。

画面越しに響く音楽に耳を傾け、心を寄せる時間をぜひご一緒ください。

<開催概要>

全国どこからでも参加できるオンライン鑑賞で開催いたします。

【開催期間】2025年6月20日（金）～7月31日（木）

【申込受付】6月5日（木）10：00より国連UNHCR協会ウェブページにて申込受付開始

<http://www.japanforunhcr.org/appeal/charity-screening>

【参加費】

申込者は（A）寄付つき鑑賞《任意の金額・都度または毎月》、または（B）無料鑑賞から選択できます。

※本イベントは、企業・団体・個人の皆様のご寄付やご協力によって運営されていますので、寄付つき鑑賞にご協力いただければ幸いです。将来を担う若年層の方たちが参加しやすいように、無料鑑賞の選択肢も設けています。

※上記寄付は、国連UNHCR協会を通じてUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の難民援助活動に役立てられます。

【主催】特定非営利活動法人 国連UNHCR協会

【協賛】株式会社ディスクユニオン



■世界難民の日とは

紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称える日です。2000年12月4日の国連総会で、毎年6月20日を「世界難民の日」（World Refugee Day）とすることが決議されました。<https://www.unhcr.org/jp/wrd2025>

■UNHCR（ユースエヌエイチシーアール：国連難民高等弁務官事務所）とは

国連の難民支援機関であるUNHCRは、難民、国内避難民、無国籍者などを国際的に保護・支援するため、世界約135カ国で活動しています。1954年、1981年にノーベル平和賞を受賞。本部はスイス・ジュネーブ。<https://www.unhcr.org/jp/>

■特定非営利活動法人 国連UNHCR協会とは

国連UNHCR協会は、日本におけるUNHCRの公式支援窓口として2000年に設立されました。UNHCR駐日事務所と連携しながら、UNHCRの活動を支えるために、企業・団体・個人などの民間を対象とした広報・募金活動を行っています。皆さまからのご寄付に対して、寄付金控除（税制上の優遇措置）の領収証を発行することができる認定NPO法人です。<https://www.japanforunhcr.org/>

《お問い合わせ先》

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 ファンドレイジンググループ 広報・渉外チーム 松田・朴
TEL: 03-4366-7373 FAX: 03-3499-2273 Email: info@japanforunhcr.org